

fx2023a.dotx の記載要領

[1] 無線固定局（特別業務の局）免許・変更・再免許申請書

この様式は無線固定局（FX）、特別業務の局（SP）の免許申請または変更申請及び再免許申請の電子申請に使用します。

無線設備の常置場所を管轄する総合通信局に提出します。

再免許申請時に「無線局事項書、工事設計書の添付を省略」することができます。

事項書の添付が不要であれば `saimen2023a.dotx` を利用してください。

[2] 注意点

写の備え付けの注意事項：

FX は、添付書類（事項書と工事設計書）の写の備え付け義務が免許人にあります。電子申請をした場合の写の備え付け方法は、施行規則並びに告示で、いろいろな備え付け方法が認められています。どの方法で備え付けるかは、免許人と相談して適切な方法で備え付けしてください。

当協会が推奨する方法は、次のいずれかです。

この word ファイルで作成した申請書（届）を

①印刷して備え付ける方法

②PDF ファイルにして CD-R に記録して備え付ける方法

です。

[3] 固定局等の様式の選択と初期設定

スタートメニュー（またはデスクトップ）の「電子申請サポートシステム new」—「新規作成」フォルダに保存されている様式の `fx2023a.dot` を開きます。メニューの起動の仕方は、「各様式共通の記載要領」を参照してください。

(1) 「初期設定」タブ — 「初期設定」

最初に提出先の総合通信局を選択します。

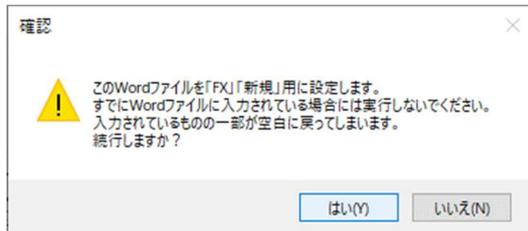
メニューの「初期設定」で、FX（固定局）、SP（特別業務の局）から無線局の種別を選択し、「新規として設定」（免許申請）、「再免許として設定」（再免許申請）、「変更として設定」（変更申請）を選択します。

工事設計書を利用しないように設定することもできます。設定したら「実行」ボタンをクリックします。

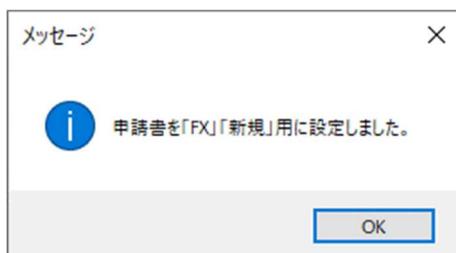
新規として設定	「工事設計書を利用する」のみ
再免許として設定	「工事設計書を利用する/しない」から選択
変更として設定	「工事設計書を利用する/しない」から選択



警告が表示されたら確認して「はい」ボタンをクリックします。



設定が終わったら次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。



「工事設計書を利用する/しない」の設定は、ページ構成フレームで表示されます。

工事設計書を利用するか利用しないかは、セットごとに指定することもできます。設定するには、無線局事項書2の備考の3番目のプルダウンで「免許手続規則第17条の規定により、工事設計書の提出を省略します。」「工事設計書に変更はないので、工事設計書の添付を省略します。」のいずれかを選択してください。

「工事設計書を利用しない」設定にしてある状態で、工事設計書に入力した場合には、入力したものは無視されます。

(2) 「初期設定」タブ — 「ページ」フレーム

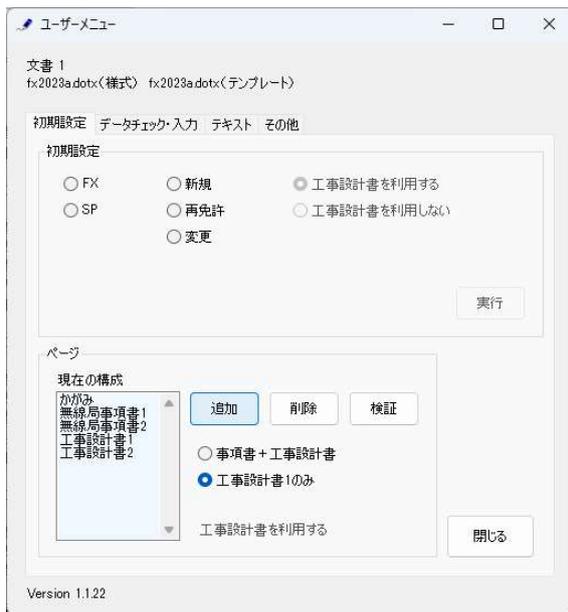
「ページ」フレームには、「現在の構成」として、「かがみ」に始まって、現在存在する「無線局事項書 1」「無線局事項書 2」「工事設計書 1」「工事設計書 2」がページ数分表示されています。

固定局等は、「無線局事項書 1」「無線局事項書 2」「工事設計書 1」「工事設計書 2」で 1 つのセットとなっていて、「工事設計書 1」は複数のページにすることができます。

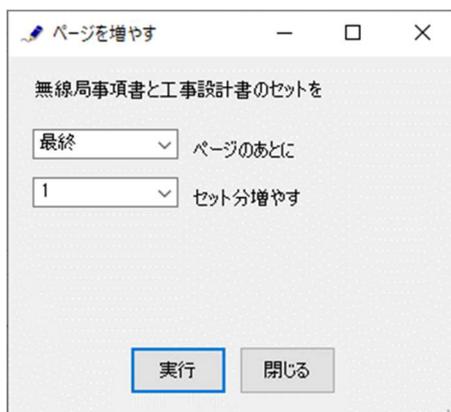
ページを増やす場合には「事項書+工事設計書」のセットとして追加するか、「工事設計書 1」のみを追加するか選んでから「追加」ボタンで増やし、「削除」ボタンで削除することができます。「検証」ボタンで現在の Word 文書のページ構成を取得しなおします。

(3) セットを追加する場合

「事項書+工事設計書」のセットを選んでから、「追加」ボタンをクリックします。



セットを増やす位置を「ページのあとに」で指定し、追加するセット数を「セット分増やす」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。



終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

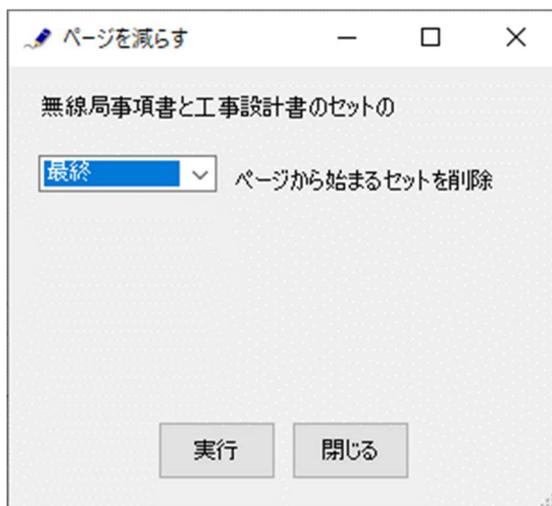


(4) セットを削除する場合

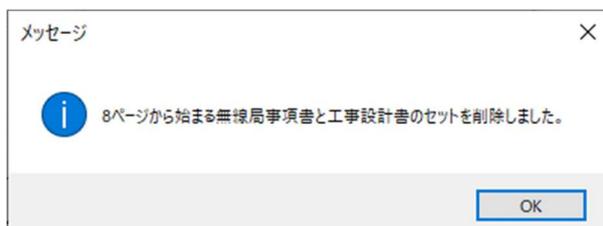
「事項書+工事設計書」のセットを選んでから、「削除」ボタンをクリックします。



セットを削除する位置を「ページから始まるセットを削除」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。削除では、1セット分しか削除することはできません。複数のセットを削除する場合には、本操作を繰り返し実施してください。

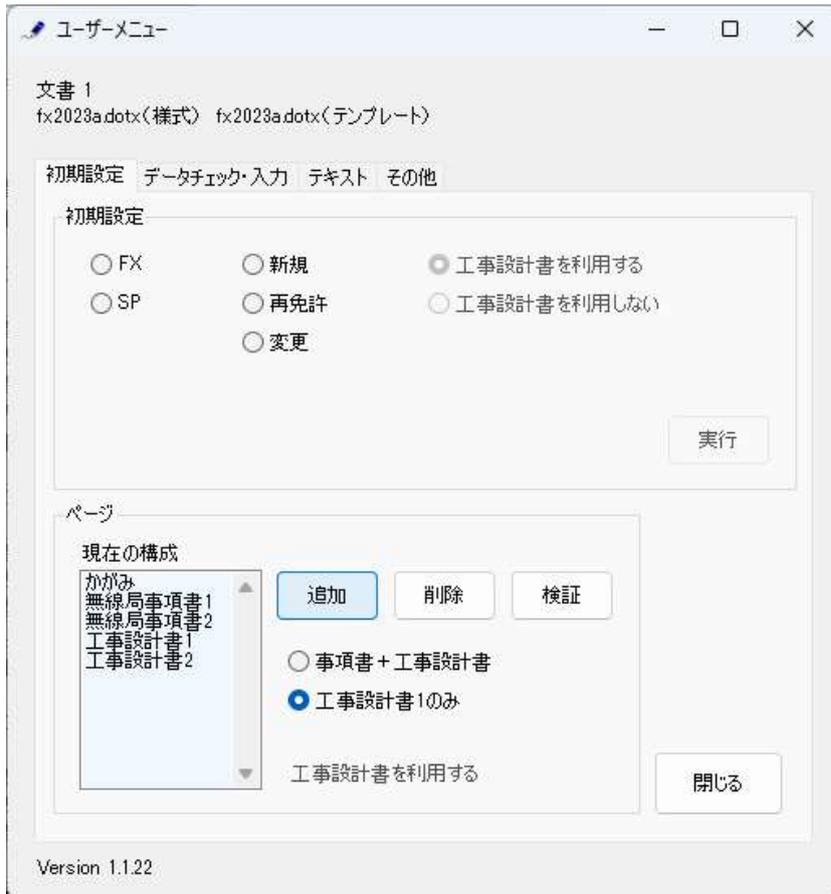


終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

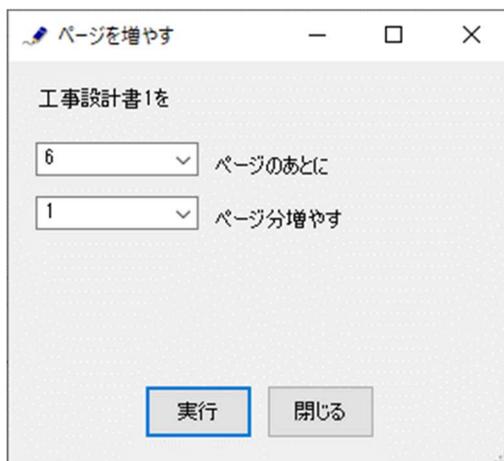


(5) 工事設計書 1 を追加する場合

「工事設計書 1 のみ」を選んでから、「追加」ボタンをクリックします。



工事設計書 1 を増やす位置を「ページのあとに」で指定し、追加するページ数を「ページ分増やす」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。

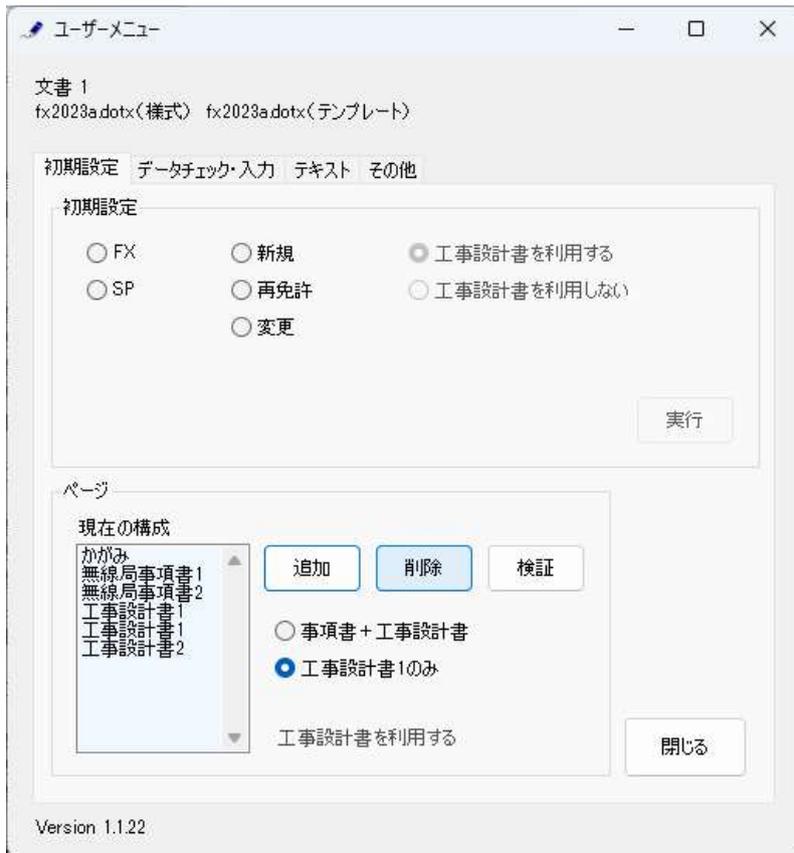


終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

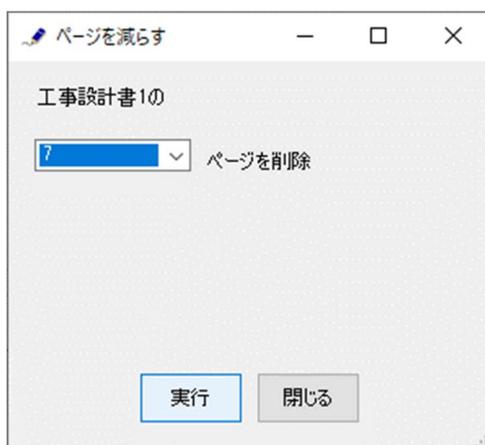


(6) 工事設計書 1 を削除する場合

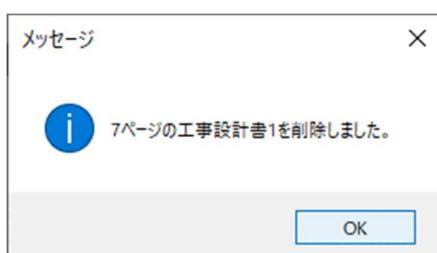
「工事設計書 1 のみ」を選んでから、「削除」ボタンをクリックします。



工事設計書 1 を削除する位置を「ページを削除」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。削除では、1 ページ分しか削除することはできません。複数のページを削除する場合は、本操作を繰り返し実施してください。

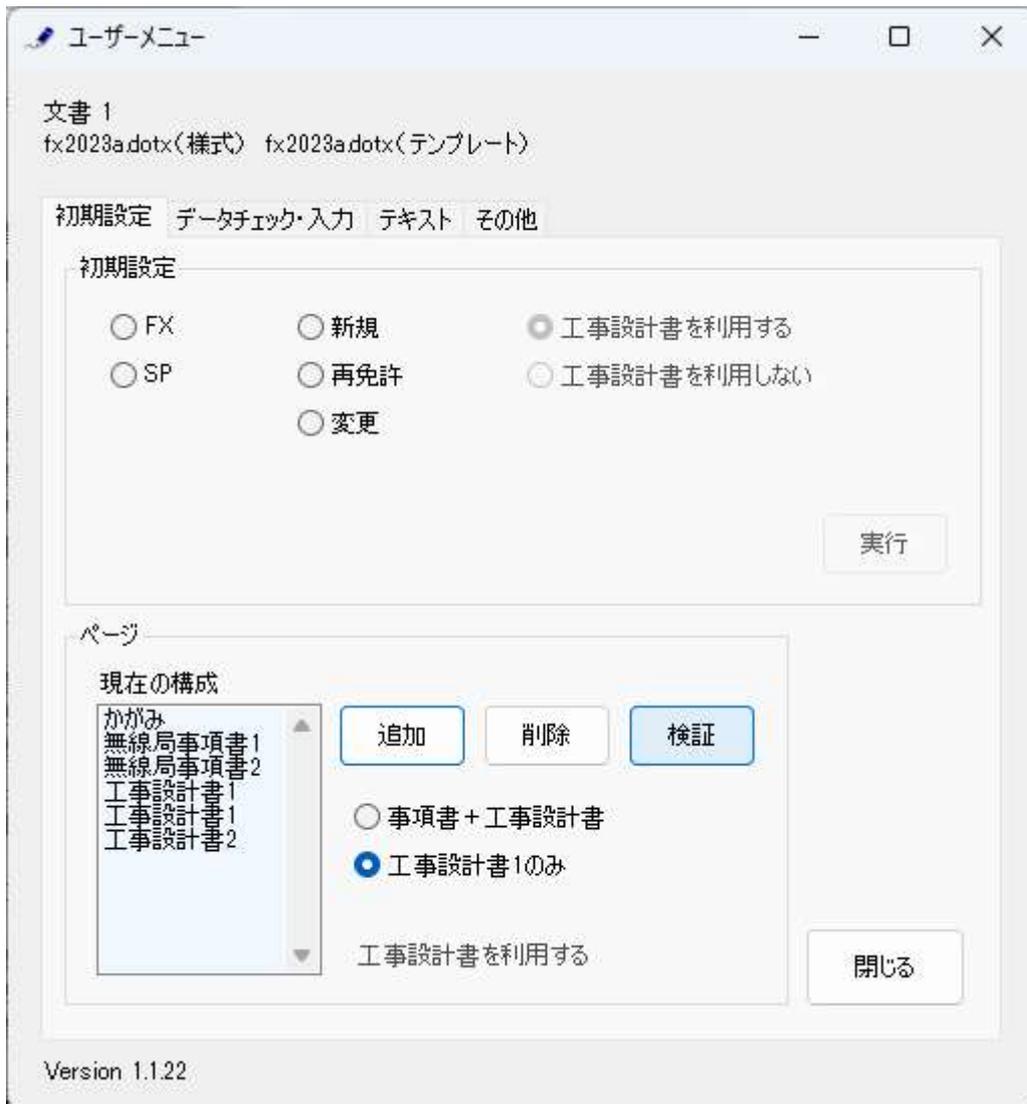


終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

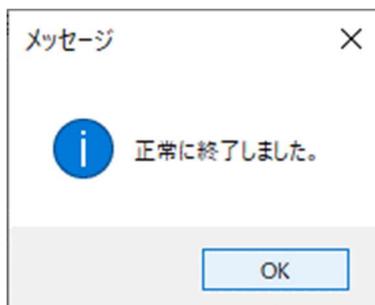


(7) 検証する場合

ページ構成を取得しなおすときには、「検証」ボタンをクリックします。(通常はこの操作を行なう必要はありません)



終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



[4] かがみの作成

fx2023a.dotx

無線局 **指定してください**

令和 年 月 日

指定してください 殿

下記、無線局の **指定してください** の規定により別紙の書類を添えて申請（届）します。

+++++ 1. 申請者

申請者 法人・団体・個人の別	
郵便番号	-
住所	
氏名フリガナ	
氏名	
代表者役職	
フリガナ	
代表者氏名	
代理人	
郵便番号	-
住所	
氏名フリガナ	
氏名	
代表者役職	
フリガナ	
代表者氏名	
復代理人	
郵便番号	-
住所	
氏名フリガナ	
氏名	
代表者役職	
フリガナ	
代表者氏名	

+++++ <申請の内容に関する連絡先>

所属	フリガナ
氏名	フリガナ
電話番号	
電子メールアドレス	

+++++ 2. 電波法第5条に規定する欠格事由

有 無

かがみ

表題	「新規」の場合は「免許申請書」に、「再免許」の場合は「再免許申請書」に、「変更」の場合は「変更申請書（届）」を選択します。
表題 2	「新規」のときは「免許を受けたいので、電波法第 6 条」を、「再免許」のときは「再免許を受けたいので、無線局免許手続規則第 16 条の 2」を、「変更」のときは「工事設計書等を変更したいので、電波法第 9 条第 1 項又は第 4 項」「工事設計書等を変更したので、電波法第 9 条第 2 項」「変更等の許可を受けたいので、電波法第 17 条第 1 項」「許可を要しない無線設備の軽微な変更工事をしたので、電波法第 17 条第 3 項」「周波数等の指定の変更をしたいので、電波法第 19 条」を申請内容に合わせて選択します。
入力年月日	提出する年月日が入力します。

1. 申請者

「法人・団体・個人の別」で該当するものを選択します。

2. 電波法第5条に関する欠格事由

「有」又はチェック無しでは申請できません。

3. 免許又は再免許に関する事項

」
 →→→→ 3. 免許又は再免許に関する事項

① 無線局の種別及び局数	FX 固定局 [] 局
② 識別信号	[]
③ 免許の番号	[]
④ 免許の年月日	[]
⑤ 免許の有効期間	[]
⑥ 希望する免許の有効期間	[]
⑦ 備考	[] 5W超～10W [] 局× [] 円 = [] 円 1W超～5W以下 [] 局× [] 円 = [] 円 1W以下 [] 局× [] 円 = [] 円 合計 [] 円 <input type="checkbox"/> 手数料免除

→→→→ 4. 電波利用料

①電波利用料の前納

電波利用料の前納の申出の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
電波利用料の前納に係る期間	<input type="checkbox"/> 無線局の免許の有効期間まで前納します（電波法第13条第2項に規定する無線局を除く）。 <input type="checkbox"/> その他（ [] 年）

②電波利用料納入告知書送付先（法人の場合に限る。）

1の欄と同一のため記載を省略します。

住 所	都道府県-市区町村コード []
	〒 ([] - []) []
部署名	フリガナ [] []

① 無線局種別及び局数	「FX」のときは「FX 固定局」を、「SP」のときは「SP 特別業務の局」を選択します。 局数を半角数字で入力します。
② 識別信号	「むせんき 1」のように希望する認識信号を数字部だけ半角数字で入力します。 変更・再免許の場合は現に免許を受けている無線局の識別信号を入力します。

③ 免許の番号	開設の場合は入力しません。 変更の場合は必須です。
④ 免許の年月日	開設の場合は入力しません。 変更の場合は必須です。 再免許の場合は、現に受けている無線局の免許の年月日を入力します。 入力する場合は年月日を半角数字で「Rxx. xx. xx」のように入力します。
⑤ 免許の有効期間	開設の場合は入力しません。 変更の場合は必須です。現に受けている無線局の免許の有効期間を年月日で入力します。
⑥ 希望する免許の有効期間	既免許局と終期を統一したい場合などに入力します。 入力する場合は年月日を半角数字で入力します。
⑦ 備考	新設、増設、再免許申請の場合、欠格事由「処分歴等(電波法第5条第3項)：無」を入力します。(必須です)
<p>呼出名称がない固定局で子局番号や局名がある場合、子局番号の場合は(子局番号○)、局名の場合は「局名○」と入力します。(通信局によって違いますので、当協会へ確認願います。)</p> <p>変更の場合で、識別信号及び免許の番号並びに免許の年月日が複数ある場合は「、」(全角句点)で区切って同一グループ数とし、相関関係が分かるようにします。ただし、免許の年月日がすべて同じである場合は、一つ入力するだけでかまいません。</p>	

4. 電波利用料

① 電波利用料の前納	「有」「無」のどちらかをチェックします。 「有」を選択した場合は、電波利用料の前納に係る期間を入力します。
② 電波利用料納入告知書送付先	申請者が「法人」で新設、増設の場合に必ず入力します。 送付先が「1. 申請者」と同一の場合は、「1の欄と同一のため記載を省略します。」をチェックします。 免許人住所以外への送付を希望する場合は□にチェックせず、住所、宛先を入力します。(宛先は免許人の部署名までとし、個人名は入れないでください。) 申請者が「個人・団体」の場合及び変更申請(届)の場合は入力不要です。 (入力しても反映されません。また「個人・団体」は原則、免許人宛てに送付されます。) 変更申請(届)の際、新たに納告先を設定したい場合は、「納入告知先申出書」を別に提出してください。

[5] 無線局事項書 1 の作成

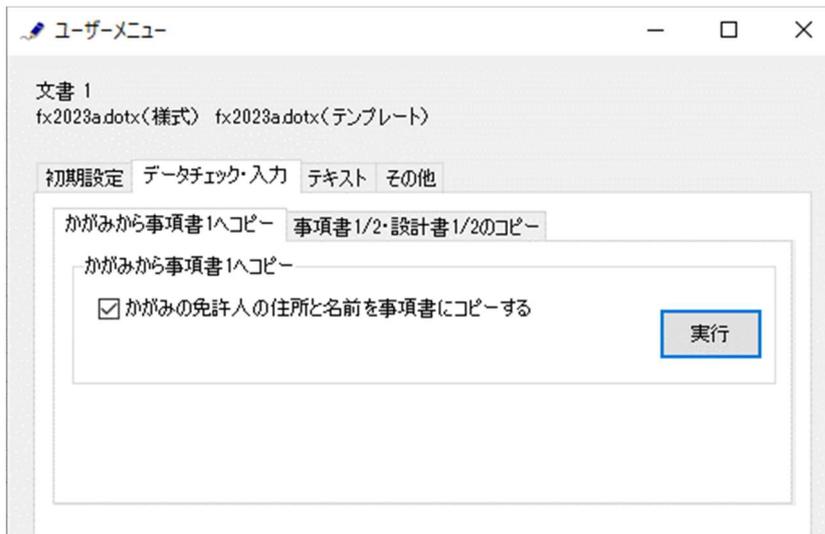
無線局事項書 1

1 免許の番号	(局分)		
2 申請(届出)の区分	<input type="checkbox"/> 開設	<input type="checkbox"/> 再免	<input type="checkbox"/> 変更
3 無線局の種別コード	FX		
4 開設、継続開設又は変更を必要とする理由			
5 法人団体個人の別	<input type="checkbox"/> 法人	<input type="checkbox"/> 団体	<input type="checkbox"/> 個人
6 住所	フリガナ		
	都道府県-市区町村コード []		
	郵便番号		電話番号
7 氏名又は名称及び代表者氏名	法人又は団体		
	フリガナ		
	コード[]		
	個人又は代表者名		
	姓	フリガナ	名
8 希望する運用許容時間			
9 工事落成の予定期日	<input type="checkbox"/> 日付指定:		
	<input type="checkbox"/> 予備免許の日から 月目の日		
	<input type="checkbox"/> 予備免許の日から 日目の日		
10 運用開始の予定期日	<input type="checkbox"/> 免許の日		
	<input type="checkbox"/> 日付指定:		
	<input type="checkbox"/> 予備免許の日から 月以内の日		
	<input type="checkbox"/> 免許の日から 月以内の日		
11 無線局の目的コード			
12 通信事項コード			
13 通信の相手方			
14 識別信号			
15 電波の型式並びに希望する周波数の範囲及び空中線電力	MHz		W
	MHz		W

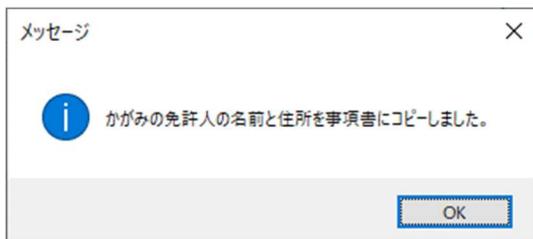
(1) かがみに入力した申請者の情報を事項書 1 に反映する

かがみに入力した申請者の情報を事項書 1 に反映させることができます。申請者の「法人・団体・個人」の種別をプルダウンから選択してから、「かがみから事項書 1 へコピー」タブの「かがみから事項書 1 へコピー」フレームの「かがみの免許人の住所と名前を事項書 1 にコピーする」をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。かがみの申請者の住所や氏名を、法人・団体・個人の種別に従って、事項書 1 の 5~7 欄「申請(届出)者名等」にコピーできます。

(但し、住所フリガナと電話番号は入力欄なく反映しませんのでご注意ください。)

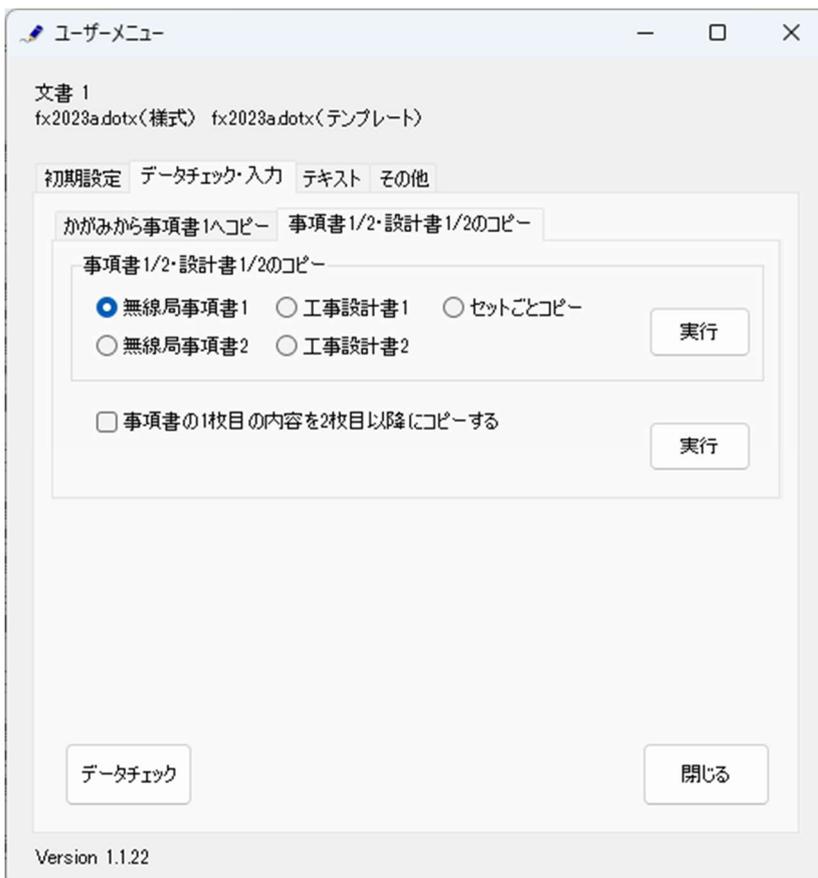


終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。

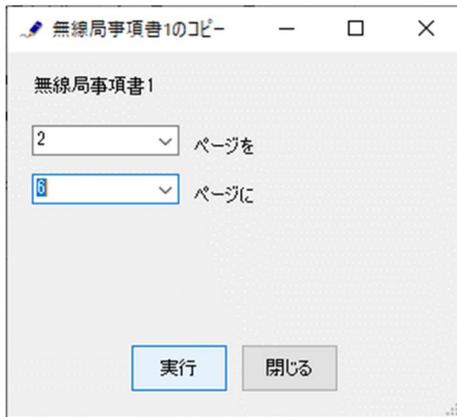


(2) 事項書や工事設計書に入力した情報をそれぞれ反映する

複数のセットを入力するときは、最初に1セット目に入力してから、「事項書 1/2・設計書 1/2 のコピー」でコピーしたい事項書・設計書をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。



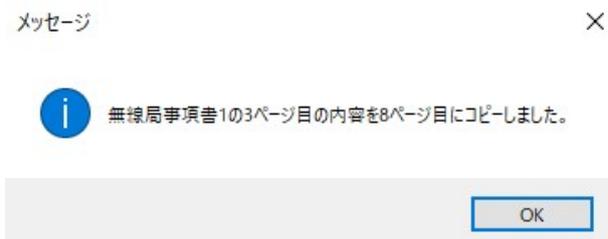
次のダイアログボックスが表示されます。コピー元のページを「ページを」から選択し、コピー先のページを「ページに」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。



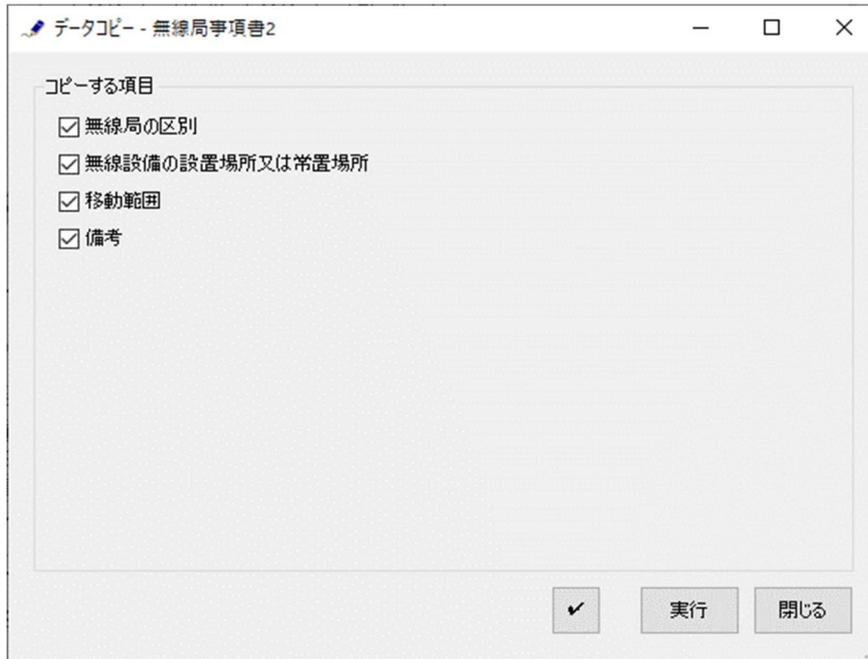
次の画面が表示されます。コピーしたい項目をクリックして選んでから「実行」ボタンをクリックします。



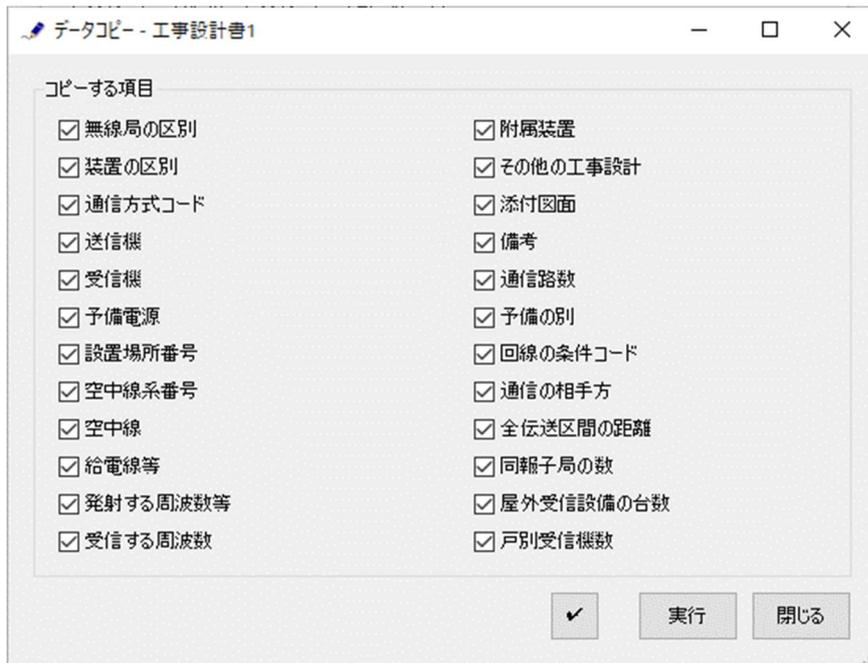
終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



無線局事項書 2 のコピーでは次の画面が表示されます。



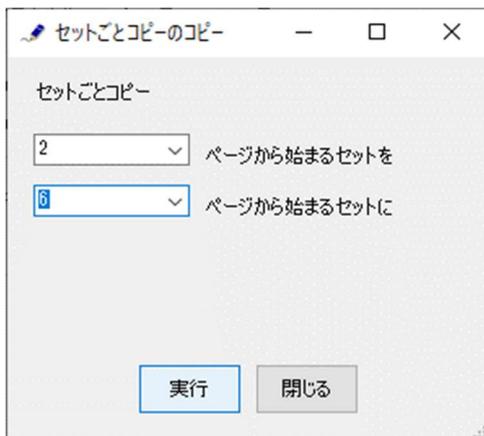
工事設計書 1 のコピーでは次の画面が表示されます。



工事設計書 2 のコピーでは次の画面が表示されます。



セットのコピーでは、コピー元のセットの先頭のページを「ページから始まるセットを」から選択し、コピー先のセットの先頭のページを「ページから始まるセットに」で指定し、「実行」ボタンをクリックします。

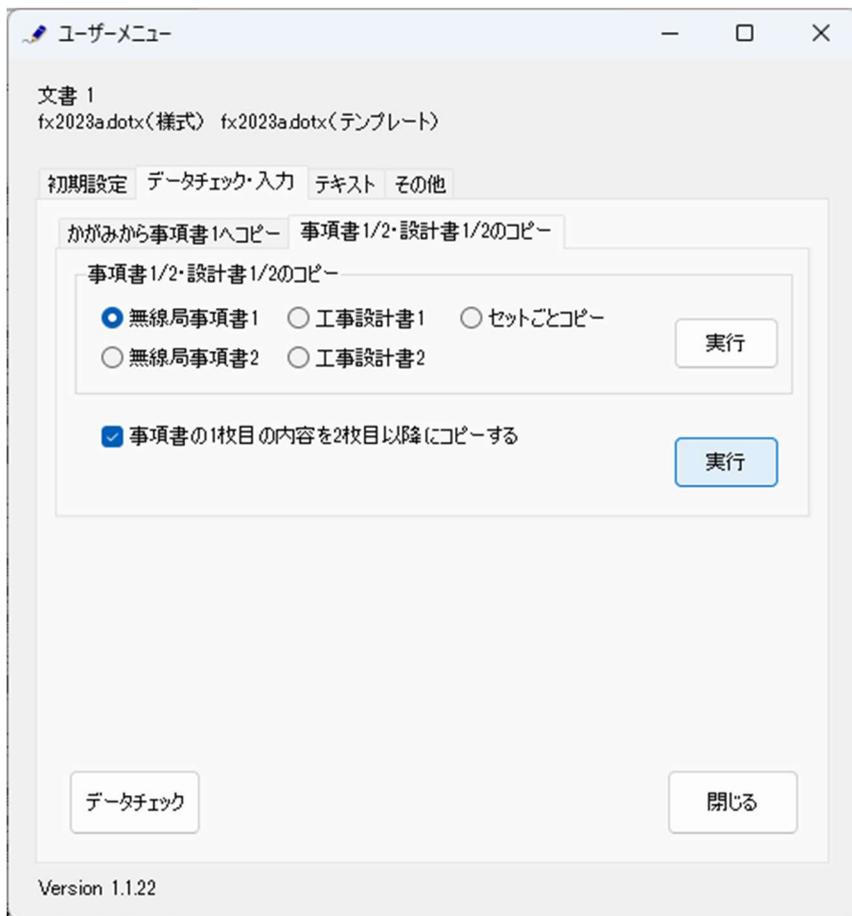


工事設計書 1 は複数ページ存在する場合、ページ数が同数の場合は 1 対 1 でコピーされ、同数でない場合には先頭の工事設計書がコピーされます。

「セットのコピー」ではコピーする項目は選択することができません。標準の設定でコピーが実行されます。

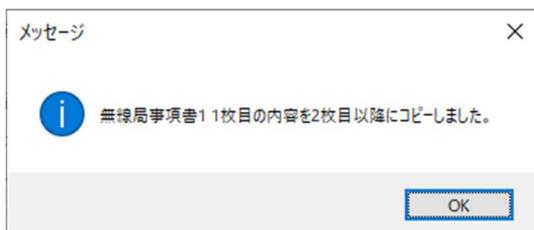
(3) 事項書 1 枚目に入力した情報を 2 枚目以降に反映する

複数の事項書 1 を入力するときは、最初に事項書 1 の 1 枚目に入力してから、「事項書の 1 枚目の内容を 2 枚目以降にコピーする」をチェックしてから「実行」ボタンをクリックします。



「実行」ボタンをクリックすると指定された項目がコピーされます。

終了すると次のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックします。



(4) 事項書の入力

1 欄 免許の番号 (局数)	「関固第 12345 号～関固第 12347 号」のように、免許番号が連続する場合は「～」でつなぎ、連続しないものは事項書を分割し別に作成します。数字は半角で入力します。局数は半角数字で入力します。
2 欄 申請 (届出) の区分	「開設」「再免」「変更」のいずれかをチェックします。
3 欄 無線局の種別コード	「FX」「SP」のいずれかを選択します。
4 欄 開設、継続開設又は変更を必要とする理由	・先頭のプルダウンは必須です。 ・変更の場合で変更事項が複数存在する場合は 2 番目以降から該当するものを選択します。説明しきれない場合は、最後のフリー入力欄に入力します。
5 欄 法人団体個人の別	「法人」、「団体」、「個人」の中で該当するものにチェックを入れます。

6 欄 住所	住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。
	都道府県市区町村コード	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。 都道府県—市区町村コードは、(財) 地方自治情報センター (LASDEC) https://www.j-lis.go.jp/spd/code-address/jititai-code.html が定める団体コード 6 ケタの内の上位 5 桁です。
	住所	住所を全角で入力します。都道府県から入力し、番地などをつなげるときは「—」(全角ダッシュ)を使います。〇〇ビル〇階(〇Fとせず「階」と入力)は登記されている場合のみ入力します。住所とビル名との間には全角スペースを入れてください。
	郵便番号	半角数字で「xxx-xxxx」形式で入力します。
	電話番号	数字とハイフンで電話番号を入力します。(数字のみでも可)
7 欄 氏名又は名称及び代表者氏名	法人又は団体フリガナ	申請者の名称フリガナを全角で入力します。
	法人又は団体名	申請者の名称を全角で入力します。
	コード	
	個人又は代表者名の姓フリガナ	申請者の姓のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の名フリガナ	申請者の名のフリガナを全角で入力します。
	個人又は代表者名の姓	申請者の姓を全角で入力します。
	個人又は代表者名の名	申請者の名を全角で入力します。
8 欄 希望する運用許容時間	入力する必要はありません。 入力する場合は「常時」と入力してください。	
9 欄 工事落成の予定期日	開設の場合は必須です。	
10 欄 運用開始の予定期日	開設の場合は入力してください。ほとんどの場合「免許の日」です。	
11 欄 無線局の目的コード	開設と変更の場合は必須です。再免許の場合は入力する必要はありません。 半角英大文字で入力します。(例) GEN、PUB、EXP 等。	
12 欄 通信事項コード	開設と変更では必須です。再免許の場合は入力する必要はありません。	
	1 段目左 2 段目左	「AAF」「AGG」「CWR」「DAB」「DAI」「EDC」「EDT」「EPA」「FDA」「GAS」「GEN」「HBW」「HSM」「HSP」「HSW」「LAO」「LCA」「LCI」「DAK」から選択できます。 2 段目左フリー入力欄はこれらの値からいずれかを入力できます。
	1 段目中央 2 段目中央	「LCK」「LCL」「LCM」「LCT」「LGO」「MAW」「MCS」「PTG」「RDA」「RDK」「RDR」「RXY」「EXW」「SPA」

		「SRD」「WRU」から選択できます。 2 段目中央フリー入力欄はこれらの値からいずれかを入力 できます。
	1 段目右 2 段目右	プルダウンに該当するものがない場合、半角英大文字で入 力します。
13 欄 通信の相手方	全角で入力します。開設と変更では必須です。再免許の場合は入力する必要 はありません。 「免許人所属の陸上移動局」「免許人所属の陸上移動局、他の防災関係機関所 属の無線局」「免許人所属の陸上移動局、消防機関所属の陸上移動局」「免許 人所属の陸上移動局、消防機関所属の陸上移動局、防災関係機関所属の無線 局」「免許人所属の陸上移動局、受信設備」「免許人所属の携帯局」「免許人 所属の携帯局、他の消防機関所属の携帯局」「免許人所属の別紙固定局」「免許 人所属の受信設備」などを入力します。	
14 欄 識別信号	呼出名称を「むせんき 1」のように数字部だけ半角数字で入力します。 識別信号の変更の場合は、新しい識別信号を入力します。呼出名称が無い固 定局で子局番号や局名がある場合、子局番号の場合は（子局番号○）、局名 の場合は「局名○」と入力します。（通信局によって違いますので、当協会へ確 認願います。）	
15 欄 電波の型式並びに希 望する周波数の範囲及び空 中線電力	6 段目以降は「電波の型式」と「電波の型式フリー入力欄」が統合されます。 周波数はポイントで最大 10 波まで入力することができます。	
	占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「15K0」「2M50」 「5M00」「9M00」「9M50」「85K0」から選択または 入力します。
	電波型式	「F3E」「F2D」「F2D F3E」「G1D G1E」「G7W」 「D7W」「F2C F3E」「F2C F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「D1D」「A3E」から選択します。
	電波型式フリー入 力	電波型式プルダウンにない電波型式の場合、半角英 数字で入力します。
	周波数	周波数を半角数字で入力します。
	周波数単位	「MHz」「kHz」「GHz」のいずれかから選択または 入力します。
	周波数フリー入力	周波数を半角数字で入力します。
	電力フリー入力	電力を半角数字で入力します。
	電力注	電力の注を入力します。

[6] 無線局事項書 2 の作成

」

無線局事項書 2

16 無線局の区別		[]	
17 無線設備の設置場所又は常置場所			
区分		<input checked="" type="checkbox"/> 設置場所 又は <input type="checkbox"/> 常置場所	
設置場所 番号	設置場所の 区別コード	住所	
1	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
2	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
3	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
4	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
5	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
6	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
7	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
8	[]	フリガナ	[]
		都道府県市区町村 コード[[]]	[]
21 備考		[] [] [] [] [] [] [] [] [] []	

16 欄 無線局の区別	識別信号を入力します。										
17 欄 無線設備の設置場所又は常置場所	<p>1 装置で設置場所が 8 箇所を超える場合は、管理者が総務省システムへ手入力しますので、9 箇所目以降の情報をメール等で連絡ください。</p> <table border="1"> <tr> <td>チェックボックス</td> <td>「設置場所」か「常置場所」のどちらかをチェックします。</td> </tr> <tr> <td>設置場所の区別コード (8 個)</td> <td>「W」「T」「R」「O」「C」「G」「M」「B」「Y」「F」「S」「J」「P」「U」「Q」「V」から選択します。 5 段目以降、これらの値からいずれかを入力します。</td> </tr> <tr> <td>住所フリガナ</td> <td>住所のフリガナを全角カタカナで入力します。</td> </tr> <tr> <td>都道府県市区町村コード</td> <td>都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>住所</td> <td>住所を全角で入力します。</td> </tr> </table>	チェックボックス	「設置場所」か「常置場所」のどちらかをチェックします。	設置場所の区別コード (8 個)	「W」「T」「R」「O」「C」「G」「M」「B」「Y」「F」「S」「J」「P」「U」「Q」「V」から選択します。 5 段目以降、これらの値からいずれかを入力します。	住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。	都道府県市区町村コード	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。	住所	住所を全角で入力します。
チェックボックス	「設置場所」か「常置場所」のどちらかをチェックします。										
設置場所の区別コード (8 個)	「W」「T」「R」「O」「C」「G」「M」「B」「Y」「F」「S」「J」「P」「U」「Q」「V」から選択します。 5 段目以降、これらの値からいずれかを入力します。										
住所フリガナ	住所のフリガナを全角カタカナで入力します。										
都道府県市区町村コード	都道府県市区町村コードを半角数字で入力します。										
住所	住所を全角で入力します。										

[7] 工事設計書1の作成

」

工事設計書 1

1 無線局の区別																		
2 装置の区別		第 装置																
3 通信方式コード																		
4 通信路数																		
5 予備の別		<input type="checkbox"/> セット予備 (第 装置) <input type="checkbox"/> システム予備																
6 送信機																		
発射可能な電波の型式及び周波数の範囲																		
定格出力(W)																		
低下させる方法コード																		
低下後の出力(W)																		
変調方式コード																		
クロック周波数(MHz)																		
検定番号																		
適合表示無線設備の番号																		
製造番号																		
7 受信機																		
区別		<input type="checkbox"/> 送信機と同じ																
通過帯域幅																		
雑音指数 (dB)																		
EQLコード																		
8 予備電源		<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無																
9 設置場所番号																		
空中線系																		
11 空中線系番号	12 空中線		空中線型式等															
	空中線の型式名	送受の別コード	基本コード	付加コード	周波数コード	SDコード	SD間隔(m)	海抜高(m)	地上高(m)	利得(dBi)	指向方向(度)	口径(m)						
	()																	
	()																	
	()																	
	12 空中線		13 給電線等				水平面の主輻射の角度の幅(度)		空中線の位置		給電線損失		共用器損失		その他損失			
			経度		緯度		送信 (dB)		受信 (dB)		送信 (dB)		受信 (dB)		送信 (dB)		受信 (dB)	
14 発射する周波数等				15 受信する周波数				16 使用する無線電中継装置				17 回線の条件コード						
								(略)										
18 通信の相手方																		
自局の空中線系番号	相手方の識別信号	相手方の免許の番号	相手方の装置の区別等															
			装置の区別				空中線系番号											
			第 装置				()											
			第 装置				()											
			第 装置				()											
19 無線電中継装置番号		(略)																
20 無線電中継装置		(略)																
22 空中線系に関するその他の事項		<input type="checkbox"/> 構成が複雑で記載が困難なため、構成を別に添付する。																
23 全伝送区間の距離(km)																		

」

24 附属装置			
コード	補足事項	コード	補足事項
25 その他の工事設計	<input checked="" type="checkbox"/> 電波法第三章に規定する条件に合致する。		
26 添付図面	<input type="checkbox"/> 無線設備系統図		
27 同報子局の数			
28 屋外受信設備の台数			
29 戸別受信機数			
30 備考			

1 欄 無線局の区別	識別信号を入力します。																						
2 欄 装置の区別	「第●装置」に装置番号を半角数字で入力します。予備送信装置の場合、チェックします。																						
3 欄 通信方式コード	プルダウンより「SN1N」「ST1N」「ST1S」「SN2N」「HN1N」「HN2N」「HT1N」「DN2N」「DT1N」「DT1S」「DT2N」「DF2N」「MN1N」「MN2N」「MT1N」「MT1S」「MT2N」「TN1N」から選択することができます。																						
4 欄 通信路数	左側のフリー入力欄に数値を、プルダウンで単位を「bps」「kbps」「Mbps」「CH」から選択し、右側には通信路実装数を数値で入力します。単位（CH）は入力しません。																						
5 欄 予備の別	「セット予備」「システム予備」のどちらかをチェックして選択します。第●装置欄には装置番号を数字で入力します。																						
6 欄 送信機	<ul style="list-style-type: none"> ・発射可能な電波の型式及び周波数の範囲 <table border="1"> <tr> <td>占有周波数帯幅</td> <td>「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「15K0」「2M50」「5M00」「9M00」「9M50」「85K0」「7K10」から選択します。</td> </tr> <tr> <td>電波型式</td> <td>「F3E」「F2D」「F2D F3E」「G1D G1E」「G7W」「D7W」「F2C F3E」「F2C F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「D1D」「A3E」から選択します。</td> </tr> <tr> <td>周波数（5個）</td> <td>周波数を半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>定格出力</td> <td>半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>低下させる方法コード</td> <td>「N」「F」「M」から選択します。</td> </tr> <tr> <td>低下後の出力</td> <td>半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>変調方式コード</td> <td>「D4PSK」「P/44PSK」「4PSK」「PSK」「4FSK」「FSK」「FM」「16QAM」「64QAM」「128QAM」から選択します。</td> </tr> <tr> <td>クロック周波数</td> <td>半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>検定番号</td> <td>検定番号を半角英数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>適合表示無線設備の番号</td> <td>技術基準適合証明番号又は工事設計認証番号を半角英数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>製造番号</td> <td>製造番号を半角英数字で入力します。</td> </tr> </table>	占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「15K0」「2M50」「5M00」「9M00」「9M50」「85K0」「7K10」から選択します。	電波型式	「F3E」「F2D」「F2D F3E」「G1D G1E」「G7W」「D7W」「F2C F3E」「F2C F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「D1D」「A3E」から選択します。	周波数（5個）	周波数を半角数字で入力します。	定格出力	半角数字で入力します。	低下させる方法コード	「N」「F」「M」から選択します。	低下後の出力	半角数字で入力します。	変調方式コード	「D4PSK」「P/44PSK」「4PSK」「PSK」「4FSK」「FSK」「FM」「16QAM」「64QAM」「128QAM」から選択します。	クロック周波数	半角数字で入力します。	検定番号	検定番号を半角英数字で入力します。	適合表示無線設備の番号	技術基準適合証明番号又は工事設計認証番号を半角英数字で入力します。	製造番号	製造番号を半角英数字で入力します。
占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「15K0」「2M50」「5M00」「9M00」「9M50」「85K0」「7K10」から選択します。																						
電波型式	「F3E」「F2D」「F2D F3E」「G1D G1E」「G7W」「D7W」「F2C F3E」「F2C F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「D1D」「A3E」から選択します。																						
周波数（5個）	周波数を半角数字で入力します。																						
定格出力	半角数字で入力します。																						
低下させる方法コード	「N」「F」「M」から選択します。																						
低下後の出力	半角数字で入力します。																						
変調方式コード	「D4PSK」「P/44PSK」「4PSK」「PSK」「4FSK」「FSK」「FM」「16QAM」「64QAM」「128QAM」から選択します。																						
クロック周波数	半角数字で入力します。																						
検定番号	検定番号を半角英数字で入力します。																						
適合表示無線設備の番号	技術基準適合証明番号又は工事設計認証番号を半角英数字で入力します。																						
製造番号	製造番号を半角英数字で入力します。																						

	検定番号又は技術基準適合証明番号、工事設計認証番号を入力した場合は、電波の型式、周波数、定格出力、低下させる方法コード、低下後の出力、変調方式コードの入力を省略することができます。	
7 欄 受信機	通過帯域幅と雑音指数を入力します。	
	通過帯域幅	半角英数字で入力します。
	雑音指数	半角英数字で入力します。
	EQL コード	「N」「A」「B」「C」「D」から選択します。
8 欄 予備電源	「有」「無」のどちらかをチェックします。	
9 欄 設置場所番号	半角数字で入力します。 但し、設置場所が1ヵ所のみの場合は不要です。	
11 欄 空中線系番号 (4 個)	上段は半角数字とハイフンで入力します。 下段は「デジタル共通波系」など全角で入力します。	
12 欄 空中線 (4 個)	数値は半角で、小数点以下の最終数字が0 (ゼロ) は入力しないでください。	
	空中線の型式名	全角英数字 40 文字までで入力します。
	送受の別コード	「M」「T」「R」から選択します。 3 段目以降、これらの値からいずれかを入力できます。
	基本コード	プルダウンの「TI」「YA」「PA」「PL」「HO」「DP」「GG」「KG」「LU」「TS」「SG」「WI」「LC」「CL」「LN」「CR」「SR」「HE」「CO」「TL」「BG」「ZD」「ZO」から選択します。 3 段目以降、これらの値からいずれかを入力できます。
	付加コード	「D」「T」「M」「O」「R」から選択します。
	偏波面コード	「V」「H」「VH」「45」「R」「L」「RL」「Z」から選択します。 3 段目以降、これらの値からいずれかを入力できます。
	SD コード	「N」「S」「R」「I」から選択します。 3 段目以降、これらの値からいずれかを入力できます。
	SD 間隔	半角数字で入力します。
	海拔高	半角数字で入力します。
	地上高	半角数字で入力します。
	利得	半角数字で入力します。
	指向方向	半角数字で入力します。
	口径	半角数字で入力します。
	水平面の主輻射の角度の幅	半角数字で入力します。
空中線の位置	緯度と経度を半角数字で入力します。	

13 欄 給電線等 (4 個)	<p>数値は半角で、小数点以下の最終数字が 0 (ゼロ) は入力しないでください。</p> <table border="1" data-bbox="507 163 1447 309"> <tr> <td>給電線損失</td> <td>半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>共用器損失</td> <td>半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>その他損失</td> <td>半角数字で入力します。</td> </tr> </table>	給電線損失	半角数字で入力します。	共用器損失	半角数字で入力します。	その他損失	半角数字で入力します。		
給電線損失	半角数字で入力します。								
共用器損失	半角数字で入力します。								
その他損失	半角数字で入力します。								
14 欄 発射する周波数等 (4 個)	半角数字で入力します。複数ある場合には「、」(全角句点)で区切ります。								
15 欄 受信する周波数 (4 個)	<p>半角数字で入力します。複数ある場合には「、」(全角句点)で区切ります。 「MHz」は入力しないでください。 例：151.1、152.2、153.3</p>								
16 欄 使用する無給電中継装置	入力できません。								
17 欄 回線の条件コード	プルダウンから「C (電気通信業務用以外) 上記以外の回線」を必要なら選択します。								
18 欄 通信の相手方	<p>通信の相手方に関する情報を入力します。</p> <table border="1" data-bbox="507 846 1447 1238"> <tr> <td>自局の空中線番号</td> <td>半角数字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>相手方の識別信号</td> <td>識別信号を入力します。</td> </tr> <tr> <td>相手方の免許の番号</td> <td>免許番号を入力します。</td> </tr> <tr> <td>相手方の装置の区別等</td> <td>装置の区別及び空中線系番号の左側の欄には半角数字で入力します。空中線系番号の右側の欄には全角で入力します。複数の装置の番号を入力するには「1、2」のように全角の「、」で区切ります。</td> </tr> </table> <p>「自局の空中線番号」を同じにして「相手方の識別信号」「相手方の免許の番号」をそれぞれ 1 つずつ入力すれば、1 つの空中線番号に対して複数の識別信号・免許の番号を関係づけることができます。</p>	自局の空中線番号	半角数字で入力します。	相手方の識別信号	識別信号を入力します。	相手方の免許の番号	免許番号を入力します。	相手方の装置の区別等	装置の区別及び空中線系番号の左側の欄には半角数字で入力します。空中線系番号の右側の欄には全角で入力します。複数の装置の番号を入力するには「1、2」のように全角の「、」で区切ります。
自局の空中線番号	半角数字で入力します。								
相手方の識別信号	識別信号を入力します。								
相手方の免許の番号	免許番号を入力します。								
相手方の装置の区別等	装置の区別及び空中線系番号の左側の欄には半角数字で入力します。空中線系番号の右側の欄には全角で入力します。複数の装置の番号を入力するには「1、2」のように全角の「、」で区切ります。								
19 欄 無給電中継装置番号	入力できません。								
20 欄 無給電中継装置	入力できません。								
22 欄 空中線系に関するその他の事項	「構成が複雑で記載が困難なため、構成を別に添付する。」を必要な場合はチェックします。チェックした場合は図面を添付し、添付する図面等の内容を備考欄に入力します。								
23 欄 全伝送区間の距離	半角数字で入力します。								
24 欄 附属装置	<p>2 列×3 行の、6 つの段に分かれています。 5、6 段目はドロップダウンとフリー入力欄が統合されています。</p> <table border="1" data-bbox="507 1821 1447 2056"> <tr> <td>コード</td> <td>「ALM」「MON」「CON」「D」「L」「OWL」「T」「PT」「F」「S」から選択します。</td> </tr> <tr> <td>コードフリー入力</td> <td>プルダウンに該当するものがない場合、半角英文字で入力します。</td> </tr> <tr> <td>補足事項</td> <td>全角で入力します。</td> </tr> </table>	コード	「ALM」「MON」「CON」「D」「L」「OWL」「T」「PT」「F」「S」から選択します。	コードフリー入力	プルダウンに該当するものがない場合、半角英文字で入力します。	補足事項	全角で入力します。		
コード	「ALM」「MON」「CON」「D」「L」「OWL」「T」「PT」「F」「S」から選択します。								
コードフリー入力	プルダウンに該当するものがない場合、半角英文字で入力します。								
補足事項	全角で入力します。								
25 欄 その他の工事設計	「電波法第 3 章に規定する条件に合致する。」をチェックします。								

26 欄	添付図面	「無線設備系統図」必要であればチェックを入れます。	
27 欄	同報子局の数	半角数字で入力します。	
28 欄	屋外受信設備の台数	半角数字で入力します。	
29 欄	戸別受信機数	半角数字で入力します。	
30 欄	備考	プルダウン	「新スプリアス」「旧スプリアス」から選択します。選択は必須です。
		プルダウン	「工事設計書 1 別紙 (18 通信の相手方)」を選択することができます。
		フリー入力	全角で入力します。

[8] 工事設計書 2 の作成

工事設計書 2

32 発射する電波の型式、周波数及び空中線電力				
周波数番号	電波の型式	周波数	空中線電力	補足事項
1		MHz	W	
2		MHz	W	
3		MHz	W	
4		MHz	W	
5		MHz	W	
6		MHz	W	
7		MHz	W	
8		MHz	W	
9		MHz	W	
10		MHz	W	

32 欄	発射する電波の型式、周波数及び空中線電力	5 段目以降、「電波の型式」と「電波の型式フリー入力」が統合されています。	
		占有周波数帯幅	「8K50」「16K0」「5K80」「24K3」「15K0」「2M50」「5M00」「9M00」「9M50」「85K0」「7K10」から選択します。 5 段目以降は「85K0」を除くこれらの値からいずれかを入力します。

電波の型式	「F3E」「F2D」「F2D F3E」「G1D G1E」「G7W」「D7W」「F2C F3E」「F2C F2D F3E」「F1E」「F1D F1E」「D1D」「A3E」から選択します。 5 段目以降は「D1D」「A3E」を除くこれらの値からいずれかを入力します。
電波型式フリー入力	半角英数字で入力します。
周波数	半角数字で入力します。
周波数単位	先頭から 4 つまでは周波数の単位として「MHz」「kHz」「GHz」から選択することができます。
空中線電力	半角数字で入力します。
補足事項	2 つとも全角で入力します。 上段は、電力の条件を入力します。 入力例：30 度方向 5 W、90 度方向 5 W 下段は、周波数の使用条件等がある場合は（注）と入力し、注の内容（附款）は枠外のプルダウン注または、フリー入力に内容を入力します。
1 装置で 15 波を超える場合は、管理者が総務省システムへ手入力しますので、11 波以降の情報をメール等で連絡ください。	

電子申請の場合は、使用する周波数が 1 波であっても、「工事設計書 2」の 32 欄の入力は必須です。

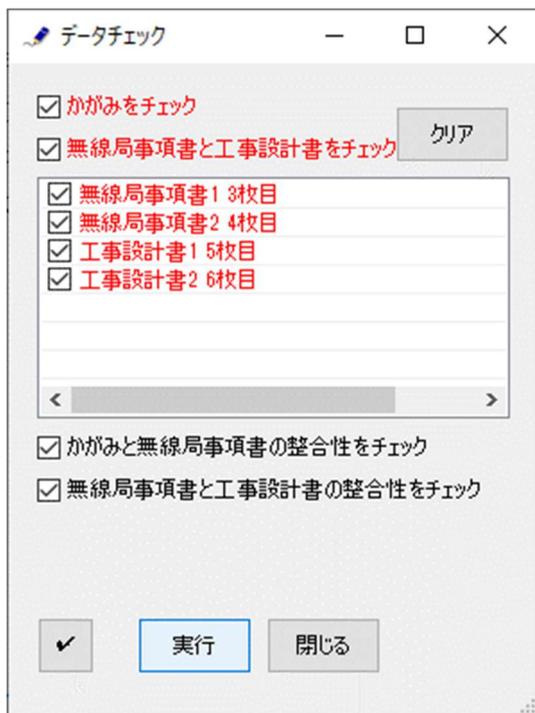
[9] データチェック

かがみと無線局事項書 1、無線局事項書 2、工事設計書 1、工事設計書 2 の入力が完了したら、データチェックを実行してください。入力ミスを自動的にチェックし、ミスがあればメッセージが出ます。

[エラー] は修正が必要です。 修正しないと先に進めません。

[警告] は確認のためのものです。修正等の必要ない場合もあります。先に進めることができます。

※データを修正したときは「クリア」をクリックし、再度データチェックを実行してください。



データチェックが完了したら、名前を付けて保存し、全国陸上無線協会へのメールに保存した **Word 文書** を添付してお送りください。